

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●錠セットを取付けてから、ドア本体を吊込んで枠を躯体に固定してください。
錠セットを取付ける前に吊込むとドアが勝手に開き危険です。

■取付け上のお願い

- 必ず指定の取付けねじで、確実に取付けてください。
- 縦枠は、下端が下枠より60mm出ます。標準枠は、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 両袖、両袖両開き枠の下枠には、ピボットヒンジ垂下がり防止のため、かい物を必ず使用してください。
- 本製品は土間納まり専用枠のため、土間以外の納まりの場合は、下枠部の防水施工を行ってください。

■ねじ一覧表

※図中の記号は、使用ねじの種類を示します。

①	②	③
		
皿木ねじ φ3.8×50	ナベタッピンねじ(1種) φ4×25	スクリー釘(丸頭) φ2.1×25

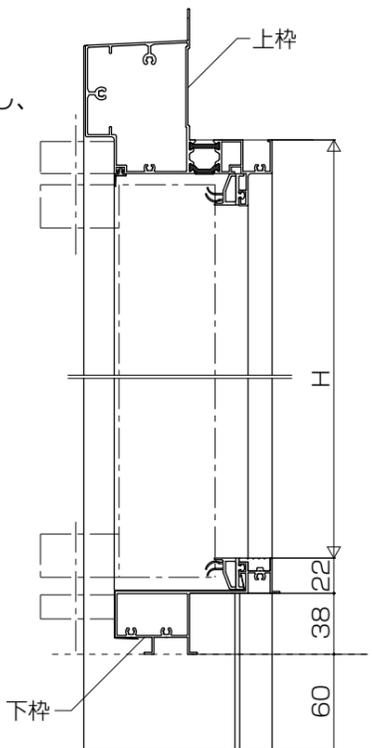
■取付け順序

1 開口部の作成

- 下表(製品基本寸法表)にしたがい、開口部を作成します。
- ※下げ振りや前後・左右のくわい、柱のねじれなどを正しく調整し、水準器でまぐさの水平を出してください。

■製品基本寸法 (単位: mm)

タイプ	W	H
片開き	960	2330
片袖	1240	2330
両袖	1692	2330
両開き	1863	2330
両袖両開き	2604	2330



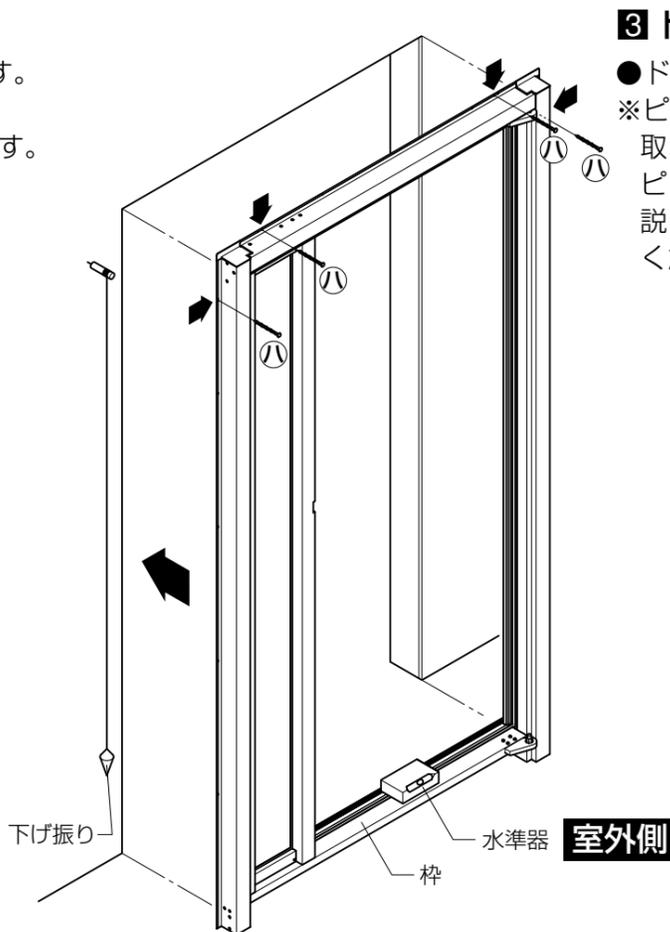
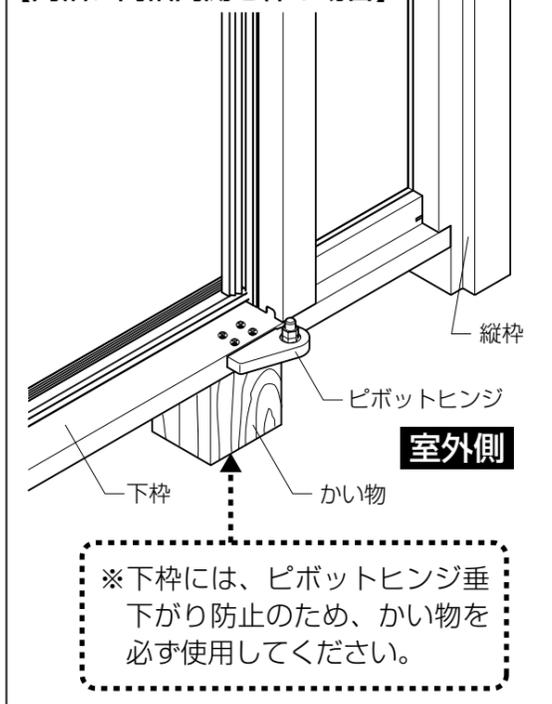
【コンクリート納まりの場合】

- ※アンカーは別売を使用します。取付け説明書は、アンカーセットの中に同梱してあります。

2 枠の仮止め

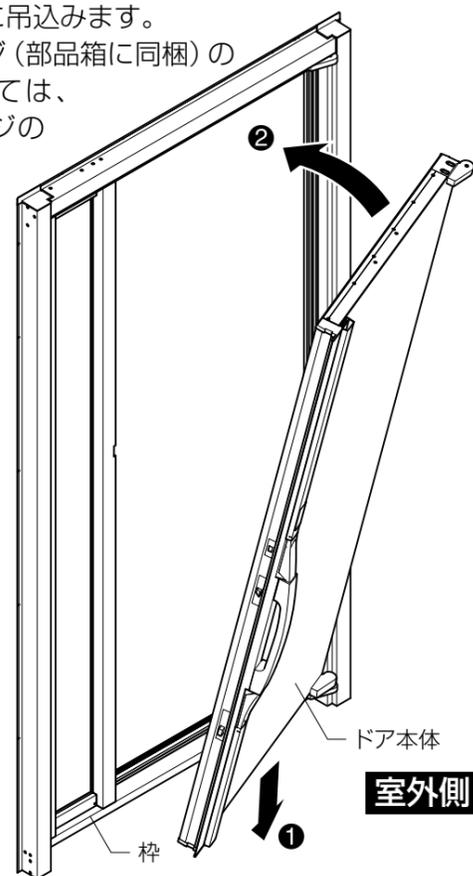
- ※図中の記号は、取付けねじの種類を表します。
- 枠を開口部に仮止めします。
- ※➡の位置に仮止め用の釘穴(長穴)があります。

【両袖、両袖両開き枠の場合】



3 ドア本体の吊込み

- ドア本体を枠に吊込みます。
- ※ピボットヒンジ(部品箱に同梱)の取付けについては、ピボットヒンジの説明書をご覧ください。



4 すき間の調整

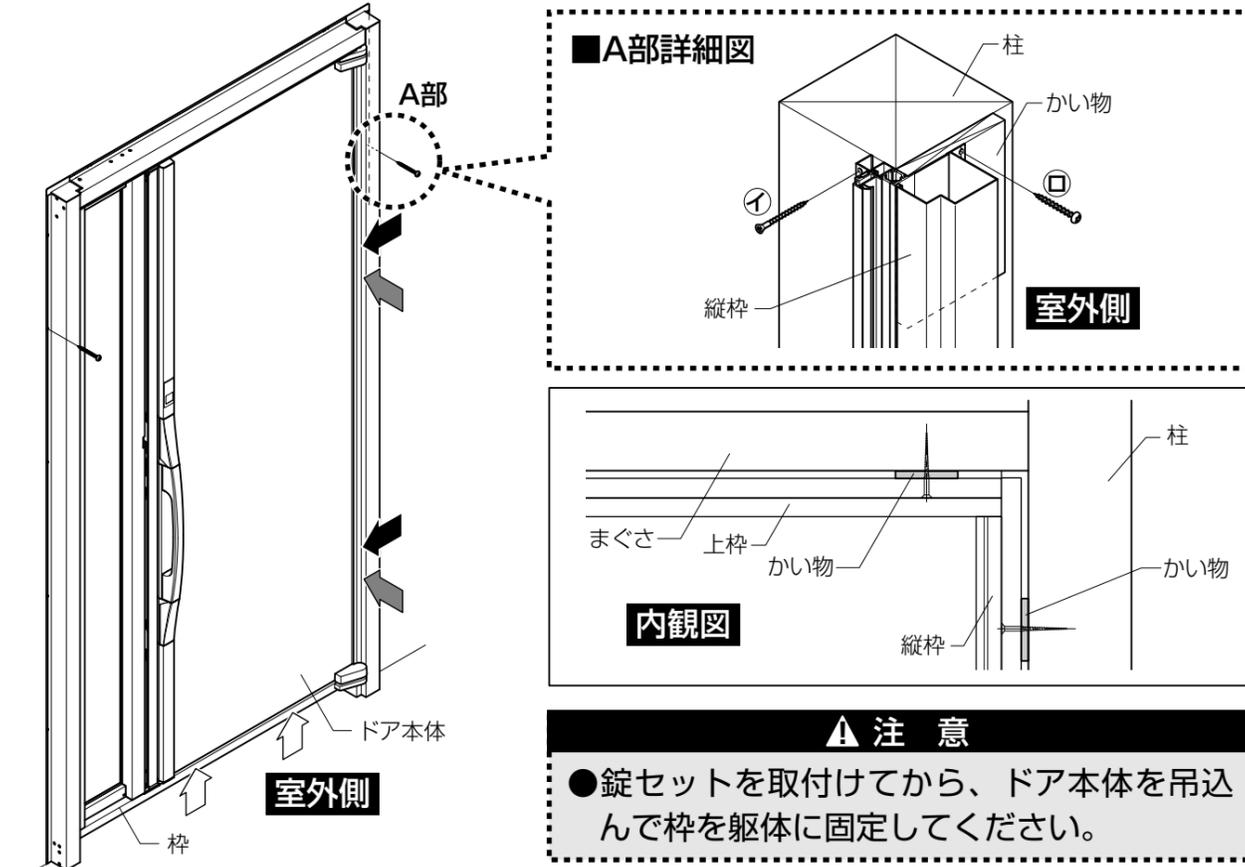
①上下(↑)・左右(→)・前後(↖)のすき間を均等にし、戸当りパッキンがドア本体に密着するよう、枠のねじれ・ころびを調整します。

※ピボットヒンジの調整については、ピボットヒンジの説明書をご覧ください。

(ピボットヒンジの調整は、あくまで補助的なものなので、躯体の調整を先に確実に行ってください。)

②枠と躯体のすき間には、かい物を当てて、固定してください。

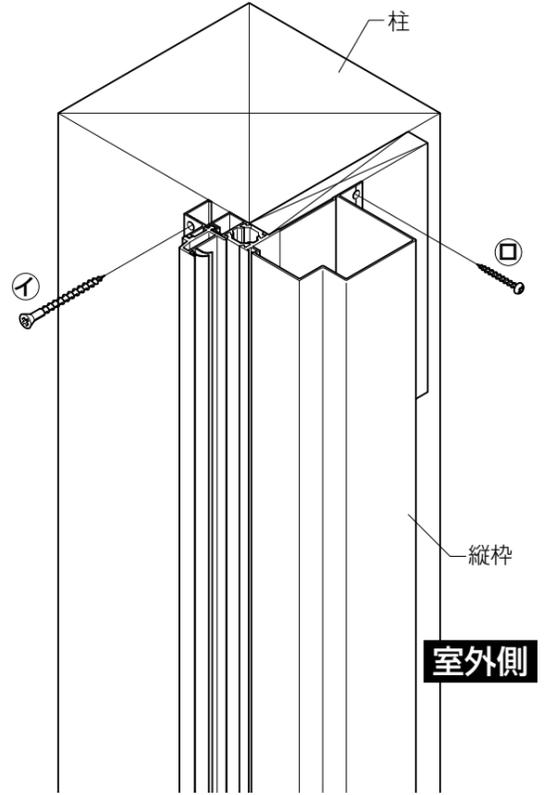
※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。



5 枠の本固定

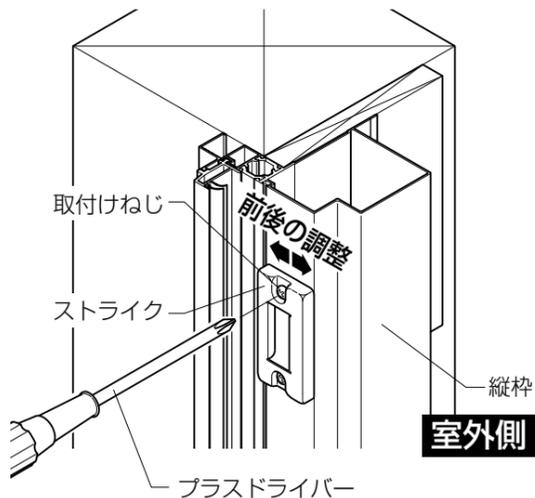
●ドア本体の開閉および、施錠・解錠がスムーズにできることを確認し、枠を本固定します。

※ドアクローザ(部品箱に同梱)の取付けについては、ドアクローザの説明書をご覧ください。



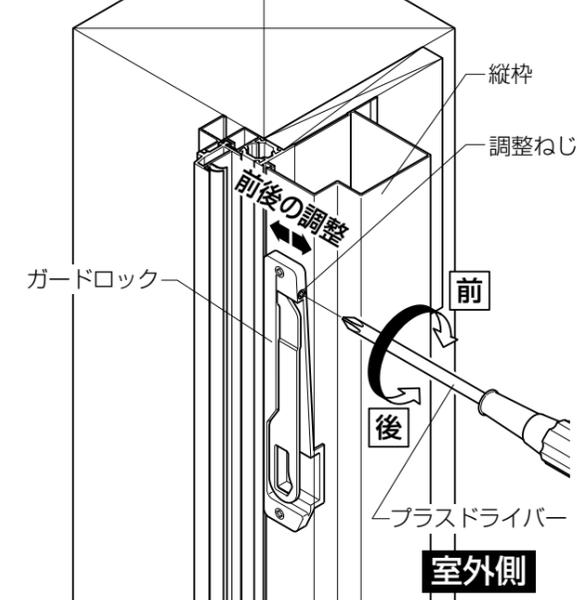
■ストライクの調整

●ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじを緩め、位置を前後に調整して締直してください。



■ガードロックの調整

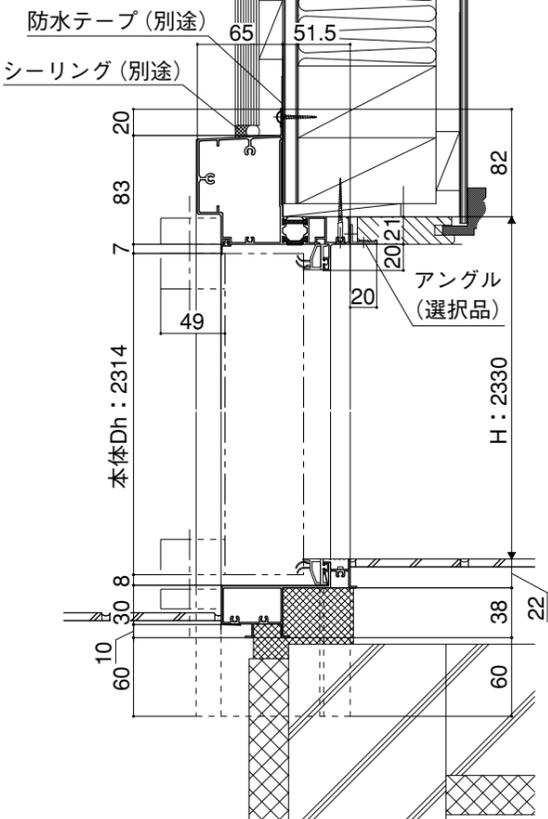
●ガードロックがかからない場合は、側面の調整ねじを回して位置を前後に調整してください。



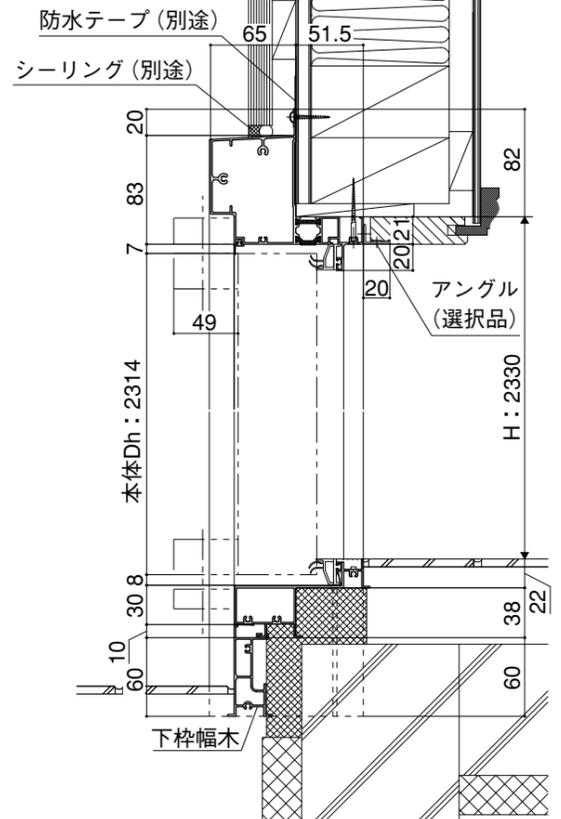
■納まり図

●縦断面図

【下枠幅木なし】



【下枠幅木あり】



●横断面図

【片袖】

